

はじめに

二十一世紀は「人権の世紀」と言われ、国内外で人権教育に関する様々な取組が行われていきます。

学校教育においては、確かな学力の育成、豊かな人間性を育むとともに、日常生活の中で、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、それが具体的な態度や行動につながる人権感覚の育成に主眼をおいた人権教育の一層の推進・充実が求められています。

「はばたき」は、昭和五十二年に第一集を刊行して以来、本年度で第三十六集となりました。その間、各学校における学習資料として、また人権啓発資料として広く活用され、人権についての理解と認識を深め、児童生徒の人権意識の高揚を図り、様々な人権課題の解決に向けて、考え、行動する児童生徒を育てる上で、大きな役割を果たしてまいりました。

ここには、児童生徒の純粋な目を通して、日常生活の様々な差別や偏見に気付き、なくしていくにはどうすればよいかを深く考えるなど、感性に訴える作品が掲載されています。この「はばたき」が、今後の人権教育の充実のための学習資料や人権啓発資料として、学校や地域等で広く活用されることを心から願っております。

おわりに、すばらしい作品を応募してくださった児童生徒の皆さん、刊行に当たって御協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

平成二十五年三月

埼玉県教育局市町村支援部人権教育課長 須藤 一郎

